

2年国際英語科 防災講演 報告

6月23日(木)に2年国際英語科の生徒に対して、名古屋市港防災センターの大場玲子氏から「高校生と防災」という題目で講演をしていただきました。

まず、名古屋市が将来直面する可能性が高い「南海トラフ巨大地震」について、歴史や被害予想を含めて話がありました。また、「マグニチュードと震度の違い」、「公助・共助・自助」についての説明とともに、公助として名古屋市が取り組む防災対策について解説がありました。

ZOOMでの講演でしたが、生徒は大場さんのはっきりとわかりやすい説明を聴き、熱心にメモをとっていました。修学旅行で訪問する神戸・淡路島の事前学習を兼ねており、防災のために高校生に何ができるかを考えるきっかけとなりました。

キーワード：「行動のパッケージ化」

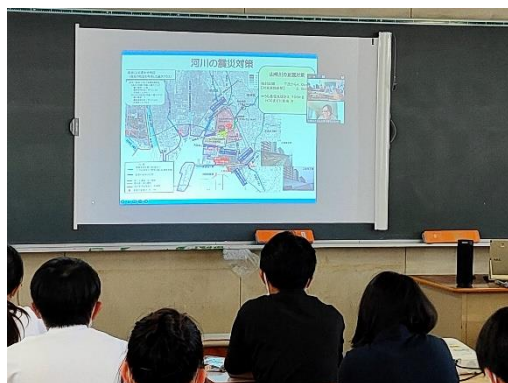
「自助、共助、公助」

「高校生は支援の実行部隊」

生徒の声：

・震災などを事前に止めることはできないので、ハザードマップを確認したり、事前に家族と話し合ったりして、減災に努めることが大切だと思った。

・予想シミュレーションがあるなんて初めて知った。もっと多くの人にこのことを知ってもらいたい。自助、共助はどちらも大事で、心はいつも構えておきたい。



ZOOM講演会の様子



質疑応答